

【担当教員名】 大橋 靖・今井信行	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期前半	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>
口腔・歯・歯周組織の発生・発育、形態と機能、およびそこに発生する疾患の病態・診断・治療・予後・予防・鑑別診断などについて概説する。
構音障害II(器質)、嚥下・摂食障害の講義とは関連が深い。

<学習目標>
言語障害には口腔の形態・機能の異常と関連するものが多い。口腔・歯・歯周組織に発生する疾患について概略を知り、必要な症例にあっては歯科医師と緊密な連携が取れるように十分な知識を養成する。

回数	授業計画又は学習の主題		SBO	
			番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	歯科・口腔外科学総論	対象、歴史、現代の医療、言語聴覚士の役割		講義
2	歯・口腔・顎・顔面の臨床解剖	顔面、頸部、口腔軟組織、顎・顎関節、歯・歯周組織の臨床解剖		講義
3	歯・口腔・顎・顔面の発生と発育	口腔・顎・顔面の発生と発育、歯の発生と萌出		講義
4	歯・口腔・顎・顔面の機能	言語機能、咀嚼機能、嚥下機能		講義
5	歯・口腔・顎・顔面の診査法	口腔診査用器械器具、消毒・滅菌・感染予防、診査法		講義
6	口腔衛生	口腔清掃法と口腔清掃指導		講義
7	歯と歯周組織の疾患	歯の疾患・歯周組織の疾患		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	言語聴覚士のための基礎知識 臨床歯科医学・口腔外科学	夏目長門編	医学書院	2006年発行 価格未定
参考書	言語聴覚士のための臨床歯科医学・口腔外科学	道 健一編	医歯薬出版	2000年発行 4000円
	最新口腔外科学：第4版	榎本昭二他編	医歯薬出版	1999年発行 21000円
その他の資料	プリントを配布する			

【評価方法】 出席状況と定期試験から評価する	【履修上の留意点】 継続して講義される口腔外科学と合わせて完結する
---------------------------	--------------------------------------